

2016年度 法科大学院

地方入学試験問題

1 時限

憲法

(論文式)

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[憲法]

設問

平成25年法律第94号による改正前の民法第900条第4号ただし書には、法定相続分につき、「嫡出でない子の相続分は、嫡出である子の相続分の二分の一」とする規定があった。この規定の合憲性につき、最高裁判所はどのような判断を下しているか、その理由づけも含めて説明しなさい。また、そうした最高裁判所の判断について、あなた自身はどのように考えるか、問題となる憲法規定の要求するところを考察しながら、述べなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)